

ばらの丘通信

No.19 2012年11月1日
社会福祉法人つちや社会福祉会



2012年、春、外壁改装工事、完了



TSUCHIYA-HOME and ROSE HILL



平均年齢 85 歳！ つちやホームを紹介します

買い物サービス



つちやホームでは、H23年、秋より買い物サービスを開始しました。「一人で外出するのは、体力的にも精神的にも不安…」という、ご利用者様の気持ちに配慮しての試みです。

以来、毎回、参加を希望するご利用者様は多く、時には抽選になる程の盛況ぶりです。



車椅子のご利用者様にも、ゆっくりと買い物をして頂けるように、他に時間枠を設けて対応しています。

又、職員とご利用者様の数名で、今迄に衣料品店、総合薬局店、100円ショップ等に出掛けました。好評だった事は、掲載した写真を見てもわかると思います。

さあ、次回は何処へ出掛けましょうか？ 計画する職員も、参加されるご利用者様もわくわくしています。

レクリエーション



つちやホームでは、職員が「誰でも参加して楽しめるゲームを」と、知恵を絞って考えたレクリエーションを行っています。

施設の外に出てお日様の光の下、ご利用者様と職員と一緒に身体を動かし、皆でゲームを楽しんでいます。

ひとりでも多くのご利用者様が参加できるように工夫しながら、これからもレクリエーションを続けていきたいと思っています。

バス旅行



つちやホームでの大きな行事の一つに、春と秋の日帰り旅行があります。毎回、行き先はご利用者様の意見を取り入れながら決めます。普段、なかなか外出する機会が少ないご利用者様の中には、日帰り旅行を楽しみにされている方が多いです。

今回は、新東名を通り沼津方面に行きました。目的地は去年できたばかりの「沼津港深海水族館」です。ご利用者様たちは珍しい深海魚を間近にし、興味深そうにご覧になっていました。

昼食に頂いた、海の幸を使った懐石料理はとても美味しかったです。

帰りは「道の駅」に寄って、お土産を見たり、ソフトクリームを食べたり、ご利用者様は思い思いに買い物を楽しまれました。

心配していた天気にも恵まれ、ご利用者様の良い思い出作りの機会にできたと思います。



編集後記

2012年、介護報酬改定に伴い様々な内容が変化してきました。第19号「ばらの丘通信」も、ご利用者様、ご家族様のご理解を得られるよう、改定内容について取り上げてみました。

今後もレイアウトを変更し、ご利用者様、ご家族様に施設の様子を分かりやすくお伝え出来るように頑張っています。 広報委員一同

第19号 平成24年11月1日発行

■発行 〒259-1205 平塚市土屋2196番地1 社会福祉法人つちや社会福祉会 理事長 水島 米子

■編集 広報委員会 ■電話 0463(58)6677 FAX 0463(58)0429 ■URL <http://www.rosehill.or.jp>



社会福祉法人つちや社会福祉会 平成23年度 事業・決算報告

事業報告 平成24年3月31日現在

利用者数 (単位:人)

	ローズヒル 特養	ローズヒルケアセンター 通所介護	つちやホーム 軽費
男	9	24	11
女	47	61	36
計	56	85	47

利用者平均年齢 (単位:歳)

	ローズヒル 特養	ローズヒルケアセンター 通所介護	つちやホーム 軽費
男	81.0	86.0	76.6
女	87.9	86.2	86.9
全体	86.8	86.2	84.5
最高齢	104	101	98

介護度分布

	ローズヒル 特養		ローズヒルケアセンター 通所介護		つちやホーム 軽費	
	人	%	人	%	人	%
自立	0	0.0	0	0.0	24	51.1
要支援1	0	0.0	0	0.0	9	19.1
要支援2	0	0.0	11	13.0	2	4.3
要介護1	2	3.6	23	27.1	9	19.1
要介護2	9	16.1	24	28.2	2	4.3
要介護3	7	12.5	17	20.0	0	0.0
要介護4	18	32.1	7	8.2	0	0.0
要介護5	20	35.7	3	3.5	1	2.1
計	54	100.0	85	100.0	47	100.0

決算報告

財産目録 平成24年3月31日現在 (単位:円)

勘定科目	金額
I 流動資産	336,410,344
II 固定資産	1,081,450,696
基本財産	810,192,206
その他の固定資産	271,258,490
資産合計	1,417,861,040
III 流動負債	16,422,753
IV 固定負債	39,356,450
負債合計	55,779,203
差引純資産額	1,362,081,837

貸借対照表 平成24年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	336,410,344	流動負債	16,422,753
現金預金	273,709,028	固定負債	39,356,450
未収金	58,668,647	負債の部合計	55,779,203
短期貸付金	0	純資産の部	
仮払金	4,032,669	基本金	740,003,825
その他の流動資産	0	国庫補助金等特別積立金	216,990,420
固定資産	1,081,450,696	その他の積立金	123,278,027
基本財産	810,192,206	次期繰越活動収支差額	281,809,565
その他の固定資産	271,258,490	純資産の部合計	1,362,081,837
資産の部合計	1,417,861,040	負債及び純資産の部合計	1,417,861,040

ローズヒル 本入所待機者状況 (単位:人)

介護度別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合計
	38	80	120	103	57	0	398

ローズヒル 短期入所生活介護 利用状況 (単位:人)

	年間利用者数	延利用者数	年間新規申込者数	新規利用者数	送迎回数
	1062	6387	67	59	1943

介護度別 (平成24年3月分) (単位:人)

短期	支援1	支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均
人数	0	5	8	14	33	15	17	3.4
%	0	5.4	8.7	15.2	35.9	16.3	18.5	

稼働率 (%)

短期16床	年間平均	108.5 (2階)	112.7	3階	106.7
-------	------	------------	-------	----	-------

ローズヒルケアセンター・高齢者よろず相談センター 平成24年3月31日現在 (単位:人)

月	通所介護		居宅介護支援		介護予防支援		配食サービス	
	延利用者数	ケアプラン作成件数	ケアプラン作成件数	予防ケアプラン作成件数	延配食数			
4	554	137	102	564				
5	509	130	103	560				
6	607	132	102	657				
7	541	129	103	639				
8	589	124	102	724				
9	501	126.5	103	619				
10	547	128	106	640				
11	530	125	103	613				
12	513	119.5	101	589				
1	480	118.5	97	594				
2	512	119.5	94	629				
3	519	117	93	623				
計	6,402	1,506	1,209	7,451				

高齢者よろず相談センター (地域包括支援センター)

ふれあいサロンの開催	5会場、計39回	延べ参加者数	500名
認知症サポーター養成講座の開催	計3回	延べ参加者数	152名
地域ケア会議の開催	地域づくり 8回	個別ケース検討	3回

事業収支計算書 平成24年3月31日現在 (単位:円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
事業活動収入	538,381,757	特別収支差額	317,402
事業活動支出	501,500,507	当期活動収支差額	36,826,251
事業活動収支差額	36,881,250	前期未繰越活動収支差額	244,983,314
事業活動外収入	15,103,739	当期未繰越活動収支差額	281,809,565
事業活動外支出	15,476,140	基本金取崩額	0
事業活動外収支差額	△372,401	基本金組入額	0
経常収支差額	36,508,849	その他の積立金取崩額	0
特別収入	799,999	その他の積立金積立額	0
特別支出	482,597	次期繰越活動収支差額	281,809,565



ローズヒル スタッフ一同

等に対して「身体拘束廃止」に向けた相談等、理解の促進をしていきたいと思っております。また、身体拘束廃止以外にも2月に一回のペースで勉強会を開催し質の向上を目指しております。

介護保険制定により、措置の時代から契約の時代になり、重要視される権利擁護の視点から当施設も身体拘束廃止に向けて日々取り組みを実践してきました。更に平成24年度神奈川県「身体拘束廃止推進モデル施設」養成研修を受け、それに伴い職員全員で、身体拘束廃止に対する理解を深める研修から、思いを受け止めるケアを実践するために、身体拘束とは何か？認知症とは何か？認知症の高齢者の理解(問題行動の真相)を深め、認知症の人が生活の中で感じている事を学び、不適切なケアや説明不足などから生じる互いの不信感をどうしたら無くしていけるかを考えました。普段ご利用者に接している対応を思い返し、ご利用者・ご家族からみて拘束と感じてしまう行為について話し合う中、当施設だけでなく、身体拘束廃止推進の中核的施設として、周辺施設等に対して「身体拘束廃止」に向けた相談等、理解の促進をしていきたいと思っております。



身体拘束廃止推進委員会



厚生労働省の通知を受け、介護職員が口の中(喉の奥の手前まで)のたん吸引と、胃ろうによる経管栄養(栄養チューブ等の接続・注入開始除く)を、看護職員と介護職員が協働し実施が可能となりました。実施にあたっては、指導者研修を終了した看護職員2名が、介護職員へ14時間の研修を行い、また、実技試験に合格した職員が行います。

必要とされる方を医師が判断し、ご家族に同意を得てから行い、その後も定期的に実施状況や手順の見直しなど医師も含めて話し合い、ご利用者様の安全確保に向けて最善を尽くしてまいります。口から食事が取れるように努め、胃ろうのご利用者様が元のように回復される方もいます。

介護職員による痰吸引研修

栄養士より

当法人では新鮮な食材を使用し、季節感を感じられる料理を家庭的な雰囲気の中で味わって頂けるように心がけています。選択食やイベント食を取り入れ、食生活の変化や楽しみへと繋げ、また、災害時に供えた非常備蓄食品の管理にも力を注いでおります。

ご利用者様の「おいしかった」という笑顔や感想は、委託会社も即日、聞く事が出来ます。

平成23年度まで、介護職員の低賃金を改善する為に、「介護職員処遇改善交付金」が国から出されていきました。それが終了となり、4月から介護職員の賃金改善を継続的に行う為に設けられたのが、「介護職員処遇改善加算」です。

これによって、今まで国から出されていた交付金が、介護報酬の中に組み込まれるようになりました。その一部(各サービスの加算率に応じた料金)を利用者様に負担して頂いております。

平成23年度まで、介護職員の低賃金を改善する為に、「介護職員処遇改善交付金」が国から出されていきました。それが終了となり、4月から介護職員の賃金改善を継続的に行う為に設けられたのが、「介護職員処遇改善加算」です。

これによって、今まで国から出されていた交付金が、介護報酬の中に組み込まれるようになりました。その一部(各サービスの加算率に応じた料金)を利用者様に負担して頂いております。

おしえて！ ケアマネジャー



つちやホームとローズヒル、ローズヒルケアセンターでは、ご利用者様の状態に合わせて、このように食事形態を展開しています。